

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	形態機能学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	一年次		学期及び曜時限	前期 月・金2限	教室名	406教室
担 当 教 員	細貝 正江	実務経験と その関連資格	鳥取大学医学部および関連医療専門学校において、基礎医学(生理学)を担当し、神経生理学に関する研究を行ってきた。 博士(医学)、日本生理学会評議員			
<b>《授業科目における学習内容》</b>						
この科目では、最低限の生命活動を維持するために必要な植物機能のうち消化器系・排泄系と、成長・発育を促し代謝や諸器官の機能を化学的に調節する役割を果たす内分泌系を中心に学習する。人体の構造と機能を有機的に繋ぎ、系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造を学び、あわせて各器官の機能、人体における役割を学んでいく。1.体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解する。2.からだの機能を構造に結びつけて理解する。3.からだの正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b>						
筆記試験(100点)で評価する。						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b>						
【教科書】「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 【副読本】「系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック」医学書院						
<b>《授業外における学習方法》</b>						
講義のノートまとめ(図も記載)、プリント課題						
<b>《履修に当たっての留意点》</b>						
積極的な取り組みを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	咀嚼について理解でき、説明できる。	教科書	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題  いずれも毎回提出	
		各コマにおける授業予定	1. 歯・口腔の構造と機能 ・咀嚼			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下について理解でき、説明できる。	教科書	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題  いずれも毎回提出	
		各コマにおける授業予定	2. 咽頭・食道の構造と機能 ・嚥下			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	胃の構造と機能を理解でき、説明できる。	教科書	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題  いずれも毎回提出	
		各コマにおける授業予定	3. 胃の構造と機能			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養素の消化と吸収について理解でき、説明できる。	教科書	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題  いずれも毎回提出	
		各コマにおける授業予定	4. 十二指腸・空腸・回腸の構造と機能 ・栄養素の消化と吸収			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	糞便の形成について理解でき、説明できる。	教科書	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題  いずれも毎回提出	
		各コマにおける授業予定	5. 結腸・直腸・肛門の構造と機能 ・糞便の形成			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	肝臓・胆道・膵臓の構造と機能について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	6. 肝臓・胆道・膵臓の構造と機能		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎臓の構造について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	1. 尿の生成 ・腎臓の構造		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	糸球体・尿細管の構造と機能 濾過, 再吸収と分泌について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>糸球体・尿細管の構造と機能</li> <li>濾過, 再吸収と分泌</li> </ul>		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞外液の調節について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	2. 細胞外液の調節 <ul style="list-style-type: none"> <li>抗利尿ホルモンの作用</li> <li>レニン - アンギオテンシン - アルドステロン系</li> </ul>		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	排尿(尿管, 膀胱, 尿道の構造と機能)、体液の調節(水の出納, 脱水, 電解質の異常, 酸塩基平衡)について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	3. 排尿:尿管, 膀胱, 尿道の構造と機能 4. 体液の調節:水の出納・脱水・電解質の異常・酸塩基平衡		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ホルモンの種類について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	内分泌とホルモン 1.ホルモンの種類		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	ホルモン分泌の調節、内分泌器官の構造とホルモンの機能について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	2.ホルモン分泌の調節 3.内分泌器官の構造とホルモンの機能		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	視床下部・下垂体・甲状腺について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>視床下部・下垂体</li> <li>甲状腺</li> </ul>		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	副甲状腺、膵島について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>副甲状腺(上皮小体)</li> <li>膵島</li> </ul>		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	副腎皮質、副腎髄質、性腺ホルモン、消化管ホルモン、腎臓のホルモン、松果体のホルモンについて理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>副腎皮質・副腎髄質・性腺ホルモン</li> <li>消化管ホルモン・腎臓のホルモン・松果体のホルモン</li> </ul>		